

あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。

Large empty box for drawing or illustration.

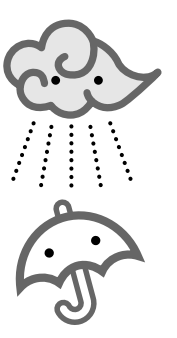


●雨水の利用を考えて

祖母井 平野政弘さん  
総合情報館の設備に、雨水の利用を考えてはどうでしょうか。

○生涯学習課総合情報館推進係  
雨水の再利用については、屋根散水やトイレの洗浄水への再利用等を検討しました。しかし、総合情報館は、特別取蔵庫・企画展示室等の湿気を嫌う部屋が多くあります。そこに、通常の配管と雨水を再利用するための配管が加わると漏水等の危険が増え、特別取蔵庫等の中にある作品に悪い影響を与えるおそれがあります。

●消防団活動に感動  
稲毛田 かんしやぶくよさん  
消防団ポンプ操法競技会が6月19日、町運動公園で曇空の下開催された。  
大会日までの2カ月間、各団員は午前4時に起きての厳しい訓練。当日は、団員5人が一連一体となり指揮者の指示の中でポンプ操作が開始された。  
車の安全確認、ポンプ確認、ホース確認、水出し、消し、止め、次々と繰り出される競技は最高・最大の演出をしてくれ、その姿を確認しつつ、感動すら覚えた。  
今、社会でこれほどまでに整然と礼儀から挨拶までを一連一体で訓練される環境は無いだろうかと一人涙する。  
ひとり一人が使命と役割の中で輝いている団員に心からご苦労様をお伝えしたい。



す。その他にも、太陽光発電システムの導入や地中熱・自然採光・自然換気を利用し、環境に配慮した施設していきたいと考えています。

私は思つ。この時節に、挨拶から始まり、挨拶で終わる感動のイベントが、まだ生きていることは芳賀地区の財産であると感じる。そして、この素晴らしいイベントが絶やすことなく永遠であれと熱望する一住民でもある。  
残念なことは、見学される人があまりに少ないこと。火事発生時に一番先に火事場に行つて活躍してくれる人たちに町をあげて感謝の心を育てていきたいと願う。  
来年は早めの広報活動で、消防団員さんとコミュニケーションを図れたらと考えます。また、芳賀町には素晴らしい消防イベントが今も継続されていることを誇りに思い、各消防団員関係者に、「ご苦労さん」と「ありがとう」を伝えたいと思いました。




▲下高根沢 高松イクさん

**いきいき 生涯学習友の会だより**  
いつでもどこでも だれもが自由参加


6月11日、西水沼の生きがいサロンで講演会を行いました。

**交通事故未然防止について**



▲交通指導員 野沢由紀子さん

**幸せな生活は自らの手でつくる**



▲生き生き生涯学習友の会 駿河富夫会長

〈参加者の声〉

「交通安全危険防止について、自分のためにルールを守り、事故を起こさないように心がけます。」

「幸せは自らの手でということが理解できました。元気は自分の心の中で作るのですね。」

《大勢の方の参加をいただき、ありがとうございました。》

※詳しい講座案内は、毎月1日発行の「広報はが」や「生き生き友の会ニュース」でお知らせしています。